

# 第1回定例会において 上山町長が本年度の所信表明を行いました

平成29年第1回定例会の開会にあたり、上山町長が所信表明を行いました。所信表明の概要と、本年度の施策方針等について町長の想いをお伝えします。

本町では、平成27年に将来的な人口の動向分析や展望をまとめた人口ビジョンや産業実態等を踏まえた中長期の政策目標、具体的な施策をまとめた湯浅町版総合戦略等を策定し、とりわけ歴史的な魅力を活かした観光振興や特産品の流通促進といった力強く成長し続けるまちづくりを進め、経済の好循環を生み出すべく取り組んでまいりました。

そのような中、少子高齢化や人口減少という困難な課題に真正面から取り組み、次代を切り拓いていくため、また、子どもを安心して安全に生育できるようにでき、そして、すべての子どもが健やかに育つことができる社会の

実現を目指して、小学校放課後の受け皿で、共働き家庭などの応援につながる学童保育の充実といった施策を展開し、若者への投資を進めることとしました。

未来志向の発想を持ち、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることで、人口減少に歯止めをかけ、若者が将来に夢や希望を持つことができる魅力あふれるまちを創り上げてまいりたいと考えています。

また、生まれ育つたふるさとへの貢献等を目的として、自らの意思で行う応援したい自治体に対する寄附いわゆるふるさと納税につきましても、平成28年度の本町への寄附額が9億円を超えるなど、前年度

約1億4千万円から大幅な伸びを記録しています。大勢の方々からいただいた寄附金は、先の未来に向かって誰かがその能力を存分に発揮できるまちづくりを進める上で貴重な財源として活用させていただいており、また、豊かな自然が育んだ「食」を魅力としたまちとしての特徴を踏まえ、寄附をいただいた方々にお渡しする返礼品を採用してまいりました。

この返礼品につきましては、ふるさと納税の伸びに応じて、地域経済の活性化と雇用の確保にも大きく影響していると認識しております。本町では、選んでもらうに相応しい自治体を目指し、ふるさと湯浅への情熱を持って



観光まちづくり関係といったしまして、観光分野における民間による攻めの投資を促し、交流人口の拡大によるにぎわい創出を図るため、歴史的風致を活かした観光振興につながる案内板等看板整備のためのガイドラインの策定、県のがまち元気プロジェクト事業等を活用し、特産物を活かしたグルメ開発、伝統文化の継承や歴史的な建物の保存活用などを進めてまいります。

また、子どもが健やかな育ちと子育てを支えることは、地域全体で取り組むべき重要な課題であることを踏まえ、小児インフルエンザワクチン接種に係る助成事業やマイナンバーを活用した子育てワゴンストップサービス化に取り組んでまいります。

今年度の予算総額は、ふるさと納税の伸びを踏まえ、昨年度と比べ約2億円増の58億9千万円となっています。厳しい財政状況を考慮し、財政健全化を堅持しながらも、夢を紡ぐ子育て支援や町民の皆様

の生命や生活を守るといっ

湯浅町長

上山 章 善

# 楠 義隆氏が新教育長に 任命されました

平成29年第1回湯浅町議会定例会において議会の同意を得たため、4月1日付けで楠 義隆氏が湯浅町教育委員兼教育長に任命されました。

楠教育長は、県立耐久高校、東京理科大学を卒業し、教員として勤められた後、和歌山県教育センター学びの丘所長や和歌山県教育庁生涯学習局長などを歴任。



楠 義隆氏

教育長就任にあたり「教育における不易と流行をしっかりと見極めながら、子供から高齢者まで様々な学びの場とともに学び、健康で豊かな人生を送ることができるよう学校教育、社会教育の充実、発展、ひいては湯浅町のますますの振興に向け、全身全霊を傾け尽力してまいります。」と述べられました。

また、垣内 貞前教育長は、平成21年に教育長に就任以来8年にわたり湯浅町の教育行政を支えてこられました。定例会では、「皆さんの教

育への思いは厚く、学校の建替えや運動場の芝生化、プール改修など学校の施設が大変立派になり、これに込めるように児童生徒も非常に落ち着いて学習に励んでいます。ひとえに皆さんのご協力とご支援のおかげと心から喜んでいます。後任の楠氏によって湯浅町の教育がますます上昇していくことを心から願ってお礼の言葉とします。」とあいさつされました。